

# 地才 地創

シンポジウム



## ひょうご食彩々

～「おいしい」がまちを変える～

北は日本海、南は瀬戸内海に面する兵庫県は、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路という五つの旧国から成り、各々の変化に富んだ気候風土や歴史に応じて個性豊かな味覚や食文化を育んできました。一方、神戸の港からはさまざまな海外の食文化が流れ込み、神戸・阪神間の生活と結びついて定着したものも数多くあります。また近年は、地域独特の人気料理として定着した「ご当地グルメ」が町おこしの材料として注目を集めています。本シンポジウムでは、こうした兵庫県の多彩な味覚、食文化を改めて検証しながら、食の持つパワーや魅力、地域資源としての可能性について考えます。

**とき** 2010年2月28日(日) **入場** 無料 **定員** 300人  
午後1時30分～午後4時(午後1時開場)

**ところ** 兵庫県公館  
(神戸市中央区下山手通4-4-1、JR元町駅西口北へ徒歩5分)



奥園 壽子(おくの・としこ)

1962年京都府生まれ。神戸市外国語大学卒業後、役者、イラストレーターなどさまざまな職業を経て料理研究家に。繰り返し食べてもあきない家庭料理に魅せられ、いろいろな手間を省いたおいしい「ラクマ」料理を提唱。世の台所から愚案を浴びている。テレビ集やエッセイの執筆だけでなく、テレビ出演、講演活動などで全国を飛び回る。

■基調講演「おいしい食はみんなの幸せ」 奥園 壽子(家庭料理研究家)

■パネルディスカッション

「ひょうご食彩々 ～『おいしい』がまちを変える～」

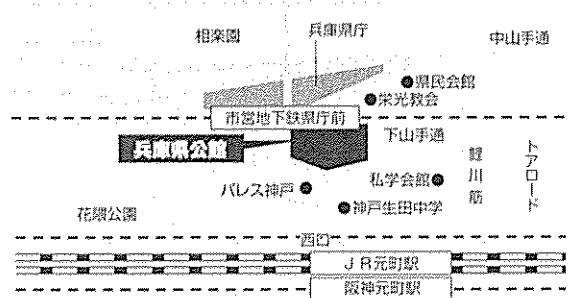
パネリスト 深澤 譲 (兵庫県栄養調理製菓専門学校教授)  
岩井 貴代 (「リシェ」編集長)  
前川 裕司 (姫路おでん協同組合代表理事)  
上田 隆穂 (学習院大学経済学部教授)  
コーディネーター 梶山 卓司 (神戸新聞社論説副委員長) (敬称略、順不同)

※話題のご当地グルメ「姫路おでん」の試食会を開催。ぜひご賞味ください。  
(参加者限定。万一、品切れの際はご了承ください)

応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望人数を書き、〒650-8571(住所不要)神戸新聞社広告局業務推進部「地才地創シンポジウム」係へ。ファクス(078-361-7802)、Eメール(ad\_gyomu@kobe-np.co.jp)でも受け付け。締め切りは2月18日(木)必着。応募多数の場合は抽選。当選発表は聴講券の発送をもって代えさせていただきます。個人情報(神戸新聞社)で管理し、聴講券の発送だけに使用します。

問い合わせ：地才地創シンポジウム係 ☎078-362-7077(平日9:30～17:30)



- アクセス**
- 市バス 県庁前下車東へ徒歩1分
  - JR 元町駅下車西口北へ徒歩5分
  - 阪神(山陽) 元町駅下車西口北へ徒歩5分
  - 神戸高速鉄道(阪急・山陽) 花隈駅下車東口北東へ徒歩10分
  - 市営地下鉄 県庁前駅下車 西5番出口すぐ

※兵庫県公館には、駐車場はありませんので、お越しの際は必ず公共交通機関をご利用ください。